

柱・梁筋から親綱ロープを取る為の墜落災害防止用金物

KS 鉄筋フック 32型 41型

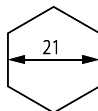


KS brand
株式会社 国元商会

32型

適応鉄筋径：D22～32

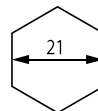
ボルト平径



41型

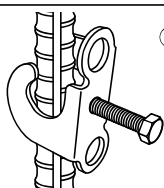
適応鉄筋径：D35～41

ボルト平径

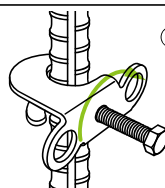


取付方法

(締付けトルク：35N・m～45N・m)



①鉄筋に対して
縦向きに鉄筋
フックをはめ
込みます。



②矢印の方向に
90°回転させ、
ボルトを締め
込みます。

商 品 名	KS 鉄筋フック32型	KS 鉄筋フック41型
品 番	1822100	1822110
入 数	20個	10個
梱包質量	12.6kg	9.2kg
適応鉄筋径	D22～32	D35～41

特長

- フープ筋やスターラップ筋のピッチ間にも取り付け可能で、
取付け、取外しが自由にでき、盛り換えが容易。
- 先端に皿バネ付き。鉄筋に対し安定した締付け固定ができ安心。
- サヤ管タイプに比べ軽量。(32型で0.63kg)

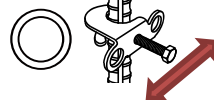
用途例

- ① 壁配筋作業に。(柱主筋に本体取付け、親綱ロープを取って利用)
- ② 梁配筋作業に。(柱主筋に本体取付け、親綱ロープを取って利用)
- ③ 柱筋フープ巻作業に。(柱主筋に本体取付け、安全帯を直接引っ掛けて使用)
- ④ 躯体端面や開口部の墜落防止養生用として。
(柱主筋に本体取付け、親綱ロープを設置。標識などを取付ける)

⚠ 注意事項

- ボルトはトルク35N・m～45N・mで締付けてください。
- 柱筋(主筋)に金物を取り付ける時、フープやスターラップがまだ取り付けて無い場合は、親綱設備を使用されてもあまり効果がありません。
- その他、金物を取り付ける相手に強度が期待できない場合も十分な効果がないので使用しないでください。
- 用途例の①～④以外の使用は避けてください。
- 本体を使用する場合左右平行方向に親綱を取付で使用する。本体と直角方向に親綱を取付けた使用はしないでください。

(平行方向)



(直角方向)



- 本製品は1スパン1人での使用とすること(親綱支柱システムに準拠)



株式会社 国元商会

本 社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-1-8
TEL(06)6231-8188 FAX(06)6231-8177
URL: <https://www.kunimoto-s.co.jp>

東京支店 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-19
TEL(03)5214-8070 FAX(03)5214-8075

九州営業所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-24-5
TEL(092)413-6880 FAX(092)413-6888

札幌営業所 〒003-0030 北海道札幌市白石区流通センター6-2-40
TEL(011)896-8180 FAX(011)896-8170

沖縄出張所 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志2-17-27
TEL(098)988-3267 FAX(098)988-3268

取扱店